

## 狭き門

マタイによる福音書七章13〜23節

狭い門から入りなさい。滅びに至る門は大きく、その道も広い。……命に通じる門は狭く、その道も細い。それを見いだす者は少ない。(13、14)

「狭き門」と聞くと、倍率が高く基準が厳しく、入ることのできる人が少ない学校などを思い浮かべます。しかし、神の国に入るための門は、基準がとても厳しいとか、定員が少ないというのではありません。全ての人が招かれているにもかかわらず、入りたいと願う人が少ないのです。それだからもう少し門を広くしようとは主は言われません。むしろ、「狭い門から入りなさい」と語られます。この門の狭さとは、私たちが身につけている罪という大きな荷物を捨てなければ通ることのできない狭さです。それはイエスを神の子救い主として信じ、神から与えられる救いの恵みを受け取る低さがなければ通ることのできない狭さです。主イエスは、私たちが抱えている罪の重荷を十字架のもとに降ろすようにと招いてくださいます。身軽になって、私たちもこの門を通ることができるようです。